

2008280488

厚生労働科学研究費補助金

医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業

薬局及び薬店における薬剤師等の業務実態等に関する調査に関する研究

平成19年度～20年度 総合研究報告書

研究代表者 白神 誠

平成21（2009）年4月

目 次

- I. 総合研究報告
薬局及び薬店における薬剤師等の業務実態等に関する調査に関する研究 ————— 1
白神 誠
(資料) 薬局・薬店における薬剤師等の業務実態調査・調査票

厚生労働研究費補助金
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業
総合研究報告書

薬局及び薬店における薬剤師等の業務実態等に関する調査に関する研究

研究代表者 白神 誠 日本大学薬学部教授

研究要旨：本研究の目的は、薬局及び薬店における薬剤師等の業務等に関する実態調査及び海外での一般用医薬品の販売の実態調査により得られた結果を解析・考察することによって、一般用医薬品の販売のあり方等の検討に寄与することにある。秋田県、千葉県、富山県、兵庫県及び宮崎県に所在する全薬局、薬店を対象に、薬剤師等の人員配置・勤務状況や医薬品陳列等の実態等についてアンケート調査を行ったところ、医薬品一般販売業での従業員の人員配置状況については、1施設当たり平均7.1人、非常勤職員の割合は35.2%、従業員1人当たり売場面積は、46.8 m²、平日（開業時間9.5時～19.9時）の薬剤師のシフトは0.38～1.13人であった。医薬品の陳列状況についてみると、オーバーザカウンターでの販売が予定されているH₂ブロッカーと風邪薬とでは「主に直接手の届かない棚やショーケースに陳列されている」とするものは、H₂ブロッカーでは63.7%であるのに対し、風邪薬では28.7%に過ぎなかった。

海外の状況に関しては、英国、ドイツ、ベルギー、米国及びオーストラリアについて調査を行ったところ、陳列・販売方法、着衣、服薬指導を行う専門家などにおいて、国による違いがみられた。特にオーストラリアにおける、薬剤師会による様々な情報ツールと研修方法や内容は、今後日本においても十分参考になる制度と実感した。

研究分担者：泉澤 恵 日本大学薬学部専任講師

A. 研究目的～E. 結論

別添のとおり

F. 研究発表

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

なし

第1章 国内における薬局・薬店の薬剤師等の業務実態調査

I 調査の概要

1 調査の目的と背景

本調査は、薬局及び薬店における薬剤師等の業務実態を調査し、薬局及び薬店における専門家として薬剤師の配置状況、正社員とパート職員の比率、勤務実態、そして医薬品陳列等の実態について調査を行い、安全に一般用医薬品の提供を行うための新たな販売体制のあり方について検討に資することを目的として実施した。

2 調査の方法と内容

1 調査対象

秋田県、千葉県、富山県、兵庫県及び宮崎県に所在する薬局、一般販売業及び薬種商販売業の全てを対象にした。

2 調査方法

- アンケート法（自記式：郵送発送・郵送回収）
- 調査期間は、千葉県及び兵庫県は平成19年7月～8月、秋田県、富山県及び宮崎県は平成20年6月～8月

3 調査内容

調査内容は下記の通りである。

- 開設主体
- 薬局・販売業の種類
- 販売品目の種類
- 年間売上高（構成割合）
- 月間受付処方せん枚数
- 売場面積
- 一般医薬品の販売・陳列方法
- 営業日・定休日の状況
- 営業時間帯
- 従業員数
- 平日の時間帯別職種別シフト
- 登録販売者試験の受験予定者数

II 調査結果の概要

1 回収状況

回収状況は図表 2-1 の通りであった。

図表 2-1 回収状況

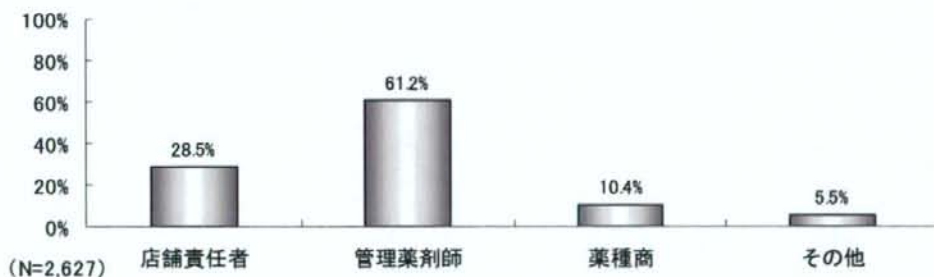
	発送数	回収数	回収率
秋 田 県	749 件	165 件	22.0%
千 葉 県	2,923 件	1,045 件	35.8%
富 山 県	580 件	160 件	27.6%
兵 庫 県	3,233 件	1,067 件	33.0%
宮 崎 県	880 件	190 件	21.6%
合 計	2,209 件	515 件	23.3%
合 計	8,365 件	2,627 件	31.4%

2 調査結果

1 調査票の回答者

調査票の回答者の 61.2%は管理薬剤師であった。

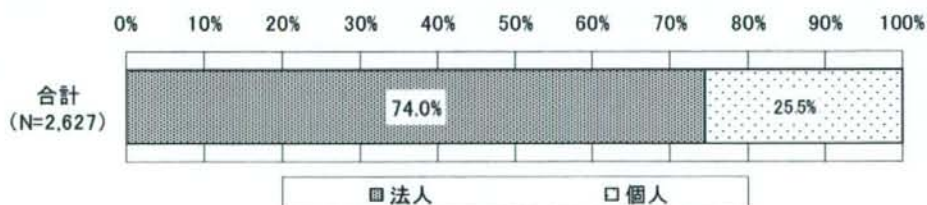
図表 2-2 調査票の回答者



2 開設主体

回答施設の 74.0%は法人であった。

図表 2-3 開設主体

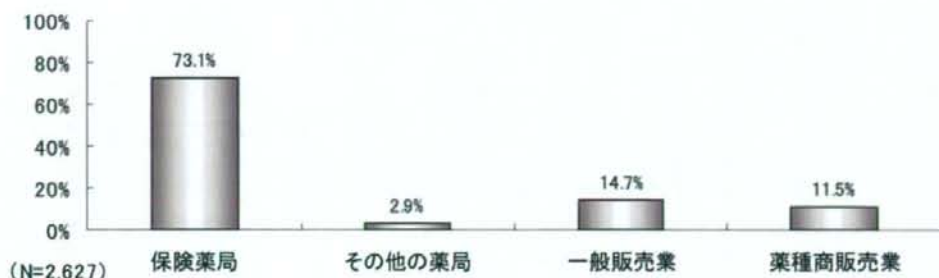


3 薬局・販売業の種類

回答施設の73.1%が保険薬局であった。

なお、次項より「保険薬局」「その他の薬局」「一般販売業」「薬種販売業」の区分は、複数回答している68施設及び無回答の10施設を除いて集計した結果である。

図表 2-4 薬局・販売業の種類



4 販売品目

① 保険薬局

保険薬局の販売品目は、医療用医薬品92.6%が最も多く、次いで一般用医薬品77.3%、医薬部外品67.7%であった。

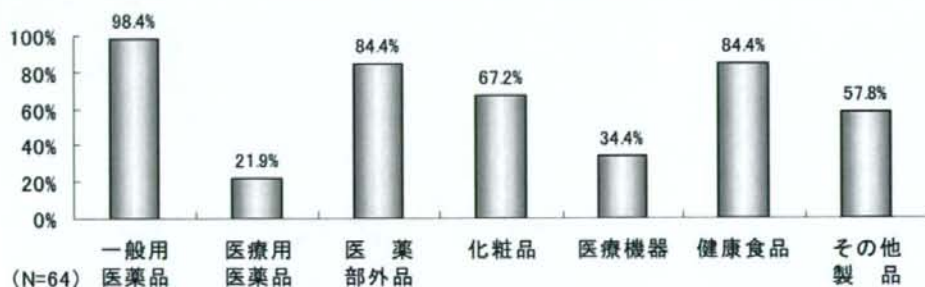
図表 2-5 販売品目（保険薬局）



② その他の薬局

その他の薬局の販売品目は、一般用医薬品 98.4%が最も多く、次いで健康食品と医薬部外品が 84.4%であった。

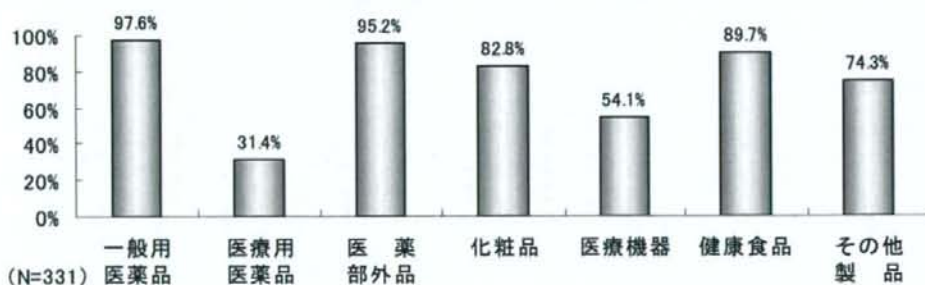
図表 2-6 販売品目（その他の薬局）



③ 一般販売業

一般販売業の販売品目は、一般用医薬品 97.6%が最も多く、次いで医薬部外品 95.2%、健康食品 89.7%であった。

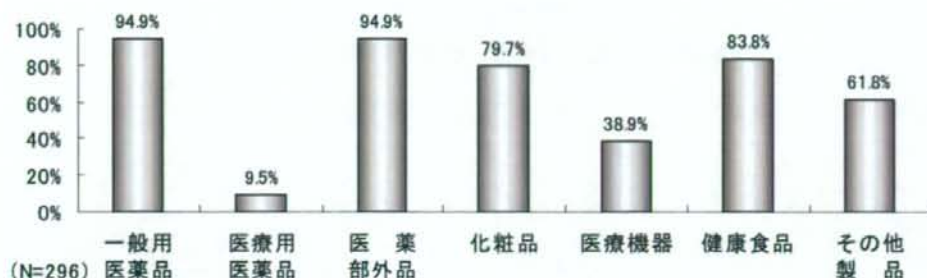
図表 2-7 販売品目（一般販売業）



④ 薬種商販売業

薬種商販売業の販売品目は、一般用医薬品と医薬部外品が 94.9%で最も多く、次いで健康食品 83.8%であった。

図表 2-8 販売品目（薬種商販売業）



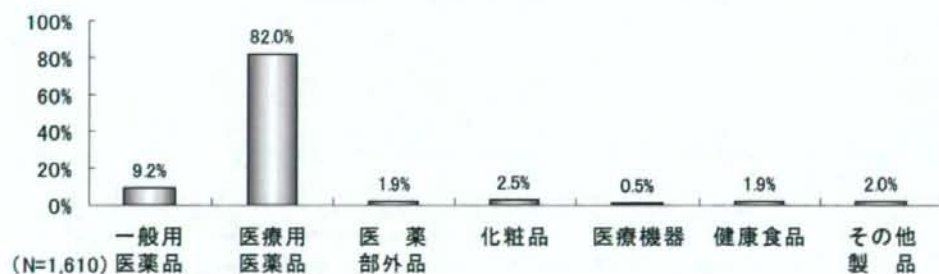
5 売上高（構成割合）・処方せん枚数

① 保険薬局

保険薬局の平成 18 年度の 1 施設当たり平均売上高は 120,058,833 円 (N=1,070) であり、売上高の 82.0%が医療用医薬品によるものであった (N=1,610)。

なお、平成 19 年 6 月 1 カ月の 1 施設当たり平均受付処方せん枚数は 1,361.8 枚 (N=1,801) であった。

図表 2-9 売上高の構成割合（保険薬局）

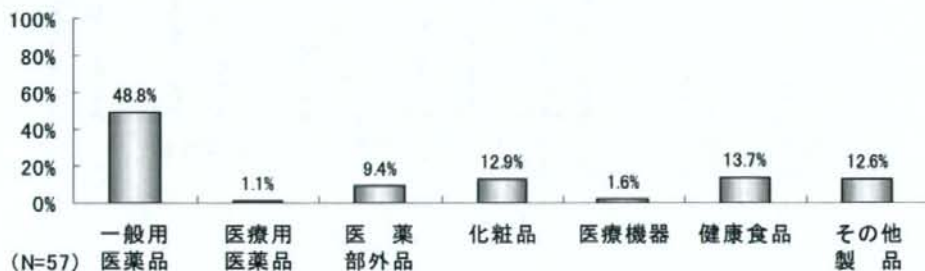


② その他の薬局

その他の薬局の平成 18 年度の 1 施設当たり平均売上高は 50,834,868 円 (N=38) であり、売上高の 48.8% が一般用医薬品によるものであった (N=57)。

なお、平成 19 年 6 月 1 カ月の 1 施設当たり平均受付処方せん枚数は 1.0 枚 (N=53) であった。

図表 2-10 売上高の構成割合 (その他の薬局)

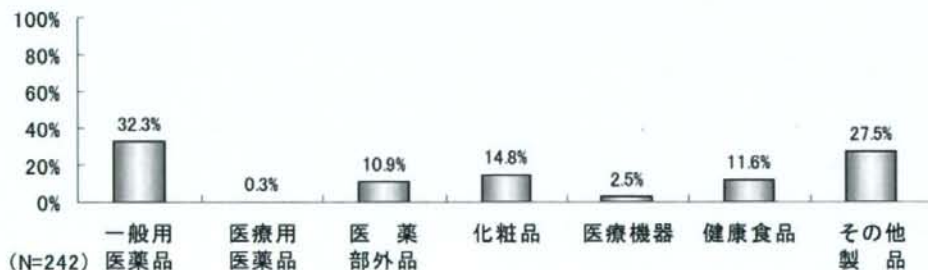


③ 一般販売業

一般販売業の平成 18 年度の 1 施設当たり平均売上高は 189,925,999 円 (N=161) であり、売上高の 32.3% が一般用医薬品によるものであった (N=242)。

なお、平成 19 年 6 月 1 カ月の 1 施設当たり平均受付処方せん枚数は 8.2 枚 (N=249) であった。

図表 2-11 売上高の構成割合 (一般販売業)

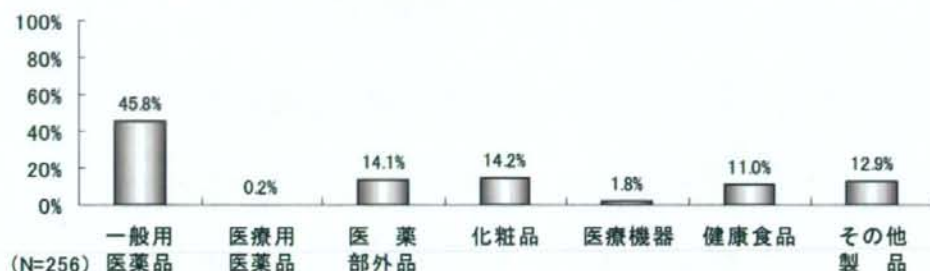


④ 薬種商販売業

薬種商販売業の平成18年度の1施設当たり平均売上高は47,378,279円(N=194)であり、売上高の45.8%が一般用医薬品によるものであった(N=256)。

なお、平成19年6月1カ月の1施設当たり平均受付処方せん枚数は0.0枚(N=141)であった。

図表 2-12 売上高の構成割合(薬種商販売業)



6 売場面積

1施設当たり平均売場面積としては、一般販売業の313.5㎡が最も大きく、保険薬局の82.8㎡が最も小さくなっていた。

なお、保険薬局では、総面積のうち調剤関連部分が40.5%を占めていた。

図表 2-13 売場面積の状況

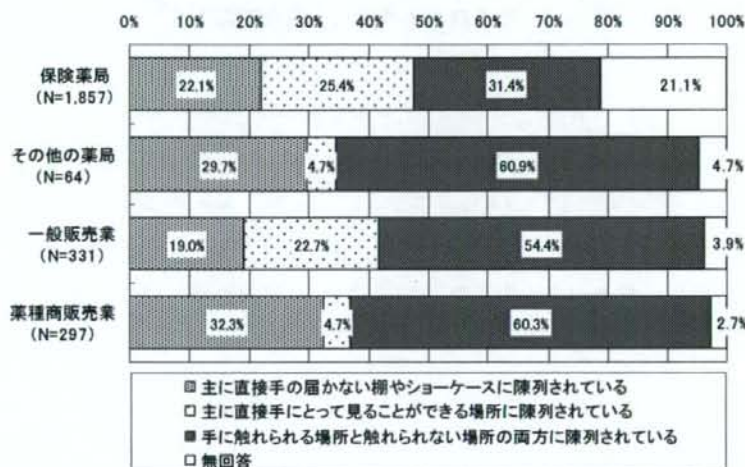
	1施設当たり	
	総売場面積	調剤関連部分
保険薬局 (N=1,563)	82.8㎡	33.5㎡
その他の薬局 (N=35)	130.5㎡	11.6㎡
一般販売業 (N=153)	313.5㎡	4.3㎡
薬種商販売業 (N=73)	134.6㎡	1.1㎡

7 販売・陳列方法

① 一般用医薬品

一般用医薬品の販売・陳列方法をみると、「主に直接手にとって見ることができる場所に陳列されている」との回答が、保険薬局（25.4%）と一般販売業（22.7%）で2割を超えていた。

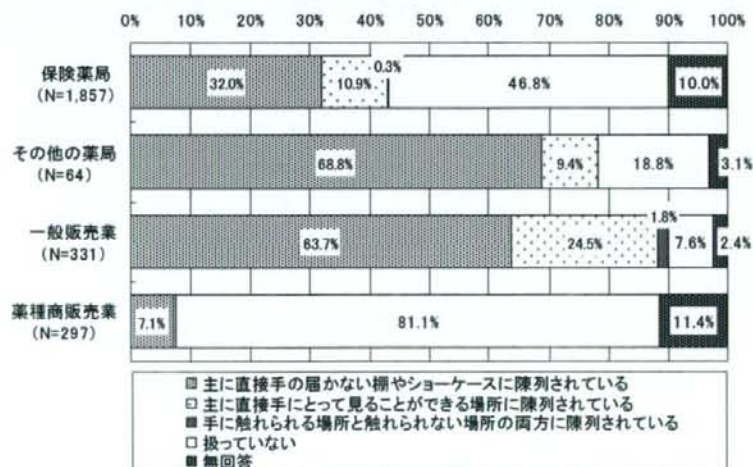
図表 2-14 一般用医薬品の販売・陳列方法



② H₂ブロッカー

一般用医薬品のうち H₂ブロッカーの販売・陳列方法をみると、保険薬局の 46.8%、薬種商販売業の 81.1%が扱っていないが、その他の薬局と一般販売業では「主に直接手の届かない棚やショーケースに陳列されている」との回答がそれぞれ 68.8%、63.7%と6割を超えていた。

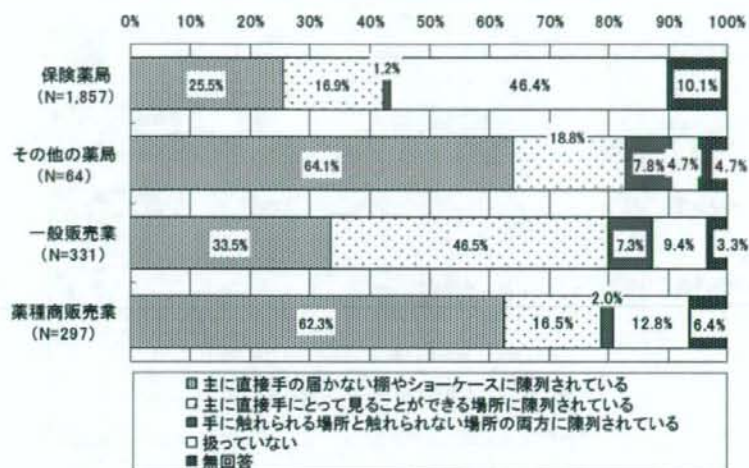
図表 2-15 H₂ブロッカーの販売・陳列方法



③ 漢方エキス製剤

漢方エキス製剤の販売・陳列方法をみると、保険薬局の46.4%が扱っていないが、その他の薬局と薬種商販売業では「主に直接手の届かない棚やショーケースに陳列されている」との回答がそれぞれ64.1%、62.3%と6割を超えていた。ただし、一般販売業では「主に直接手にとって見ることができる場所に陳列されている」との回答が46.5%であった。

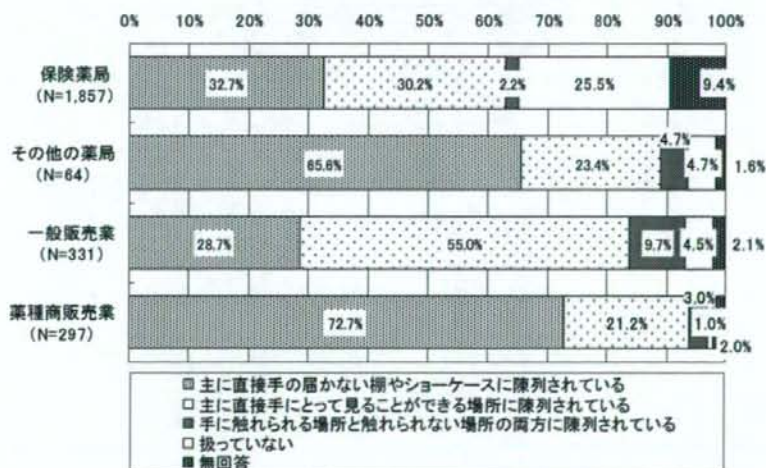
図表 2-16 漢方エキス製剤の販売・陳列方法



④ 風邪薬

風邪薬の販売・陳列方法をみると、その他の薬局と薬種商販売業では「主に直接手の届かない棚やショーケースに陳列されている」との回答がそれぞれ65.6%、72.7%であった。一方、一般販売業では「主に直接手にとって見ることができる場所に陳列されている」との回答が55.0%であった。

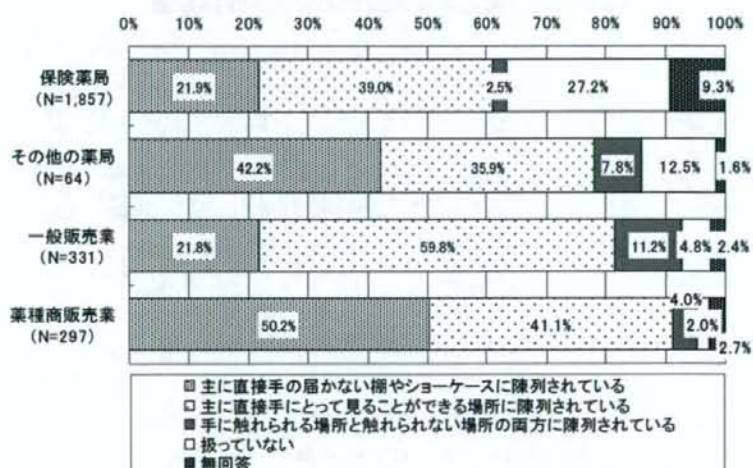
図表 2-17 風邪薬の販売・陳列方法



⑤ ビタミン剤

ビタミン剤の販売・陳列方法をみると、薬種商販売業では「主に直接手の届かない棚やショーケースに陳列されている」との回答が50.2%であった。ただし、一般販売業では「主に直接手にとって見ることができる場所に陳列されている」との回答が59.8%であった。

図表 2-18 ビタミン剤の販売・陳列方法



8 営業日・定休日

営業状況を見ると、一般販売業の 65.3%が「年中無休」であった。また、薬種商販売業では 35.0%、その他の薬局でも 21.9%が「年中無休」であった。一方で、保険薬局では「年中無休」は 6.4%にすぎなかった。

ただし、保険薬局の 83.5%が週 5 日以上の営業であった。

図表 2-19 営業状況

		保 険 薬 局 (N=1,857)		そ の 他 の 薬 局 (N=64)		一 般 販 売 業 (N=331)		薬 種 商 販 売 業 (N=297)	
年中無休		118	6.4%	14	21.9%	216	65.3%	104	35.0%
週	1.0 日 営業	10	0.5%	2	3.1%	0	0.0%	2	0.7%
	1.5 日 営業	3	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	2.0 日 営業	5	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	2.5 日 営業	3	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%
	3.0 日 営業	3	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	3.5 日 営業	5	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	4.0 日 営業	11	0.6%	0	0.0%	2	0.6%	0	0.0%
	4.5 日 営業	66	3.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	4.8 日 営業	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	5.0 日 営業	568	30.6%	5	7.8%	24	7.3%	12	4.0%
	5.2 日 営業	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	5.5 日 営業	306	16.5%	1	1.6%	0	0.0%	2	0.7%
	6.0 日 営業	652	35.1%	28	43.8%	44	13.3%	86	29.0%
	6.5 日 営業	24	1.3%	0	0.0%	1	0.3%	2	0.7%
無 回 答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	
休日は不定期		75	4.0%	14	21.9%	41	12.4%	86	29.0%
無 回 答		5	0.3%	0	0.0%	3	0.9%	1	0.3%

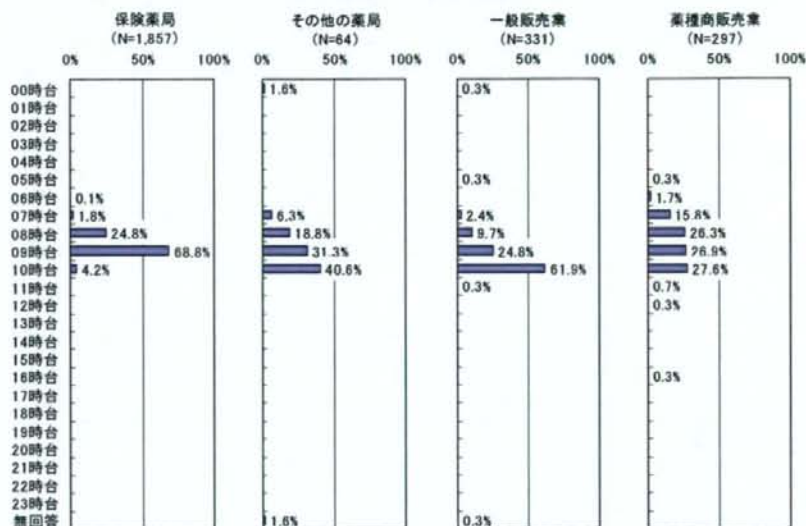
9 営業時間帯

① 平日

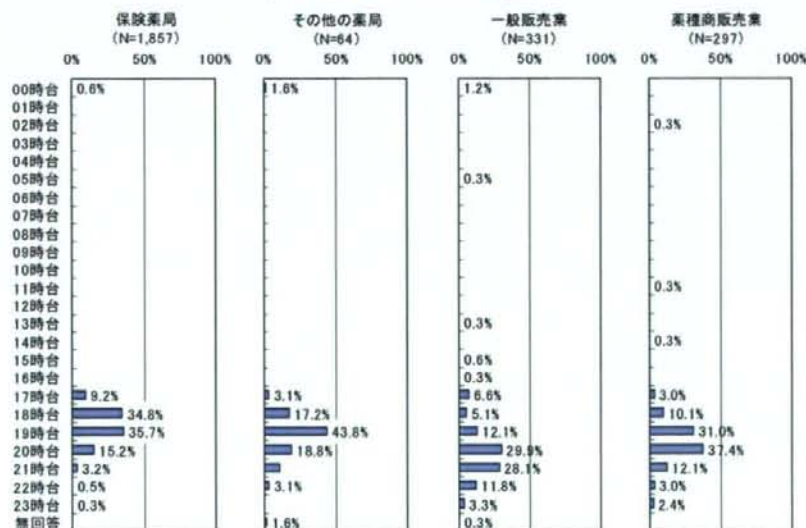
平日の営業時間帯について、施設種類ごとの平均開業時間及び平均終業時間は下記の通りであった。

- 保険薬局 : 平均開業時間 8.9 時 平均終業時間 18.7 時
- その他の薬局 : 平均開業時間 9.0 時 平均終業時間 19.0 時
- 一般販売業 : 平均開業時間 9.5 時 平均終業時間 19.9 時
- 薬種商販売業 : 平均開業時間 8.8 時 平均終業時間 19.6 時

図表 2-20 開業時間



図表 2-21 終業時間

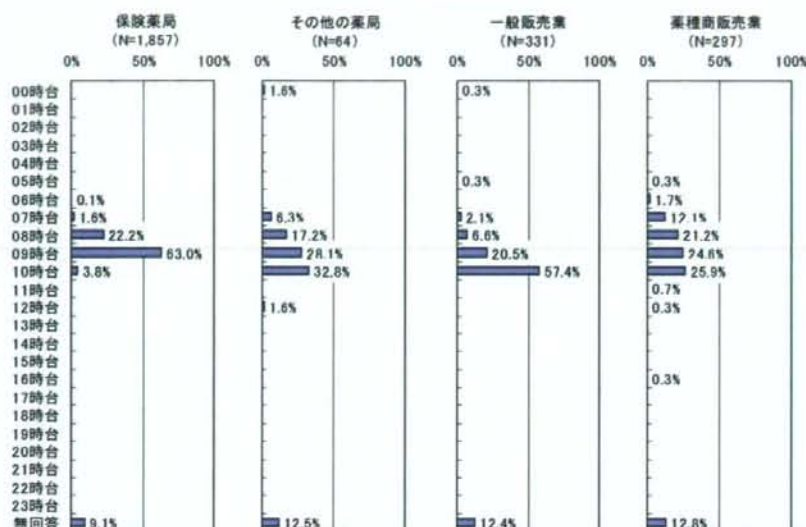


② 土曜日

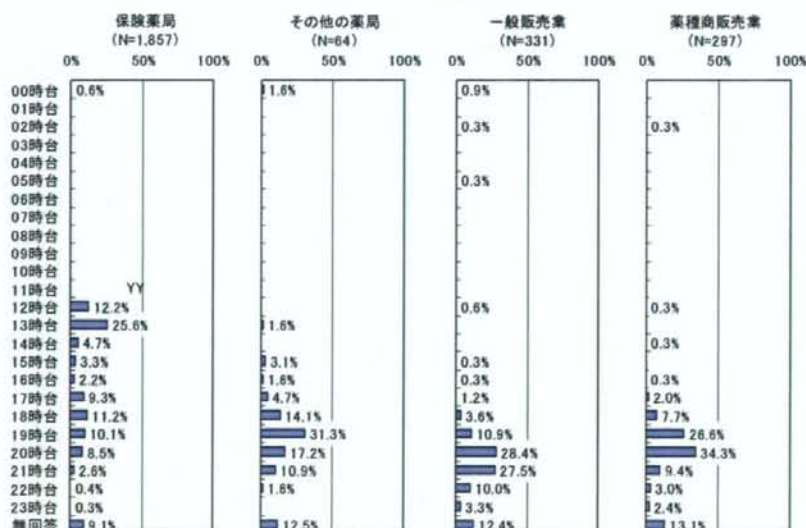
土曜日の営業時間帯について、施設種類ごとの平均開業時間及び平均終業時間は下記の通りであった。

- 保険薬局 : 平均開業時間 8.9 時 平均終業時間 15.7 時
- その他の薬局 : 平均開業時間 9.0 時 平均終業時間 18.6 時
- 一般販売業 : 平均開業時間 9.5 時 平均終業時間 20.0 時
- 薬種商販売業 : 平均開業時間 8.8 時 平均終業時間 19.6 時

図表 2-22 開業時間



図表 2-23 終業時間

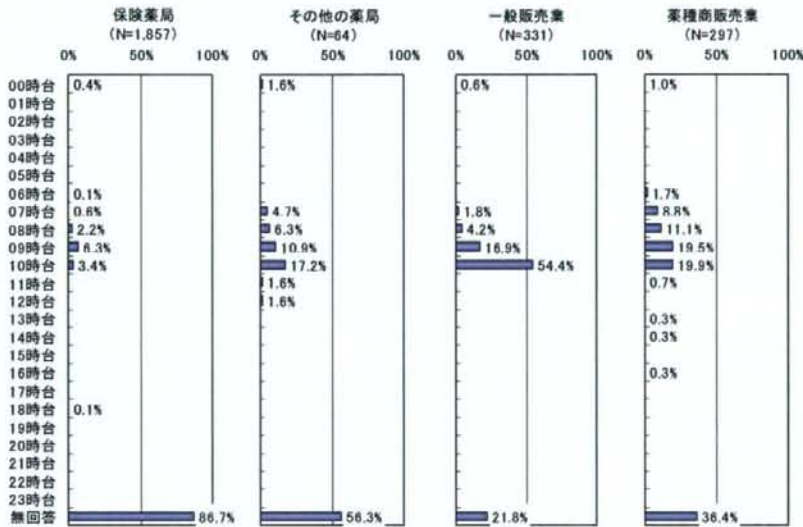


③ 日曜日

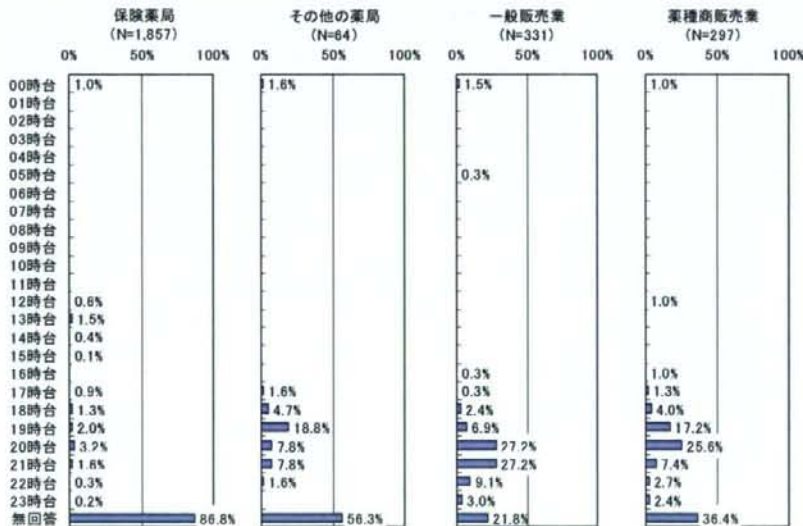
日曜日の営業時間帯について、施設種類ごとの平均開業時間及び平均終業時間は下記の通りであった。

- 保険薬局 : 平均開業時間 8.8 時 平均終業時間 16.8 時
- その他の薬局 : 平均開業時間 9.0 時 平均終業時間 18.9 時
- 一般販売業 : 平均開業時間 9.6 時 平均終業時間 20.1 時
- 薬種商販売業 : 平均開業時間 8.8 時 平均終業時間 19.4 時

図表 2-24 開業時間



図表 2-25 終業時間



10 従業員数

施設種類ごとの1施設当たり平均従業員数の状況は図表2-26～2-29の通りであった。従業員1人当たり売場面積をみると、保険薬局は16.7㎡と最も小さく、その他の薬局と一般販売業ではそれぞれ47.2㎡、44.8㎡と40㎡を超えていた。

図表 2-26 1施設当たり従業員数（常勤換算）の状況（保険薬局）

N=1,519	薬 剤 師	そ の 他 職 員	合 計
常 勤 職 員	2.1 人	1.6 人	3.7 人
非 常 勤 職 員	0.9 人	0.8 人	1.7 人
合 計	3.0 人	2.4 人	5.4 人
従業員1人当たり売場面積 (N=1,331)			17.3 ㎡

図表 2-27 1施設当たり従業員数（常勤換算）の状況（その他の薬局）

N=43	薬 剤 師	そ の 他 職 員	合 計
常 勤 職 員	1.2 人	1.0 人	2.1 人
非 常 勤 職 員	0.2 人	0.7 人	0.9 人
合 計	1.4 人	1.6 人	3.0 人
従業員1人当たり売場面積 (N=40)			46.0 ㎡

図表 2-28 1施設当たり従業員数（常勤換算）の状況（一般販売業）

N=219	薬 剤 師	そ の 他 職 員	合 計
常 勤 職 員	1.2 人	3.3 人	4.5 人
非 常 勤 職 員	0.6 人	1.9 人	2.5 人
合 計	1.9 人	5.2 人	7.1 人
従業員1人当たり売場面積 (N=193)			46.8 ㎡

図表 2-29 1施設当たり従業員数（常勤換算）の状況（薬種商販売業）

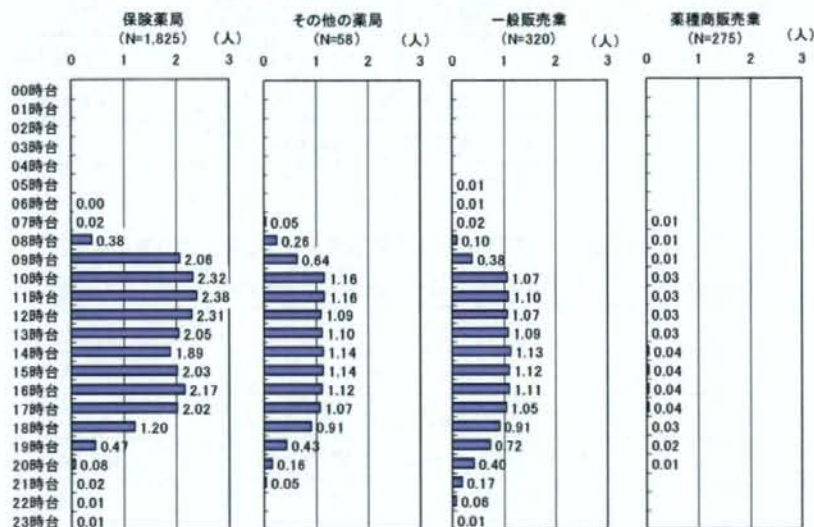
N=81	薬 剤 師	そ の 他 職 員	合 計
常 勤 職 員	0.1 人	1.8 人	1.8 人
非 常 勤 職 員	0.0 人	0.8 人	0.9 人
合 計	0.1 人	2.6 人	2.7 人
従業員1人当たり売場面積 (N=145)			41.2 ㎡

11 平日の従業員のシフト

平日の営業時間帯は、保険薬局では薬剤師が2人程度、その他の薬局と一般販売業では1人程度、薬種商販売業では薬種商が1人程度従事していた。また、その他の職員も1～2人程度が従事していた。保険薬局では、医療機関の午前の外来終了後から午後の外来が開始するまでの時間帯に薬剤師の配置が多少なくなる傾向にあった。

① 薬剤師

図表 2-30 1施設当たり薬剤師数（実人数）の状況；平日の時間帯別



② 薬種商

図表 2-31 1施設当たり薬種商数（実人数）の状況；平日の時間帯別



③ その他の職員

図表 2-32 1施設当たり薬種商数（実人数）の状況；平日の時間帯別

